

施設設備費について

学生の皆さんに納めていただいている施設設備費(年額 15 万円～40 万円)の詳細についてご説明します。

先に、施設設備費とは何かについてお話をさせていただきます。文部科学省が定める学校会計基準では、「学校の施設や設備を拡充・維持していくための費用」と定義されています。ここでいう学校の施設とは、土地や校舎等の建物の他、野球・サッカーグラウンド・駐車場などの構築物、図書・パソコン・机等の備品類のことを言います。また、それらを拡充・維持していくための費用とは、新しく施設や設備を購入する(施設設備関係費)だけではなく、備品や建物の破損・故障を修繕するための経費(備品建物修繕費)、建物の場合は清掃・警備、庭園には緑地管理といった「維持管理」にかかる費用(業務委託費)を言います。また、購入後、経過年数によって失われる施設設備の資産価値に対する経費(減価償却費)も含まれます。

私立学校においては、それらの経費を全部自前で用意することとされていますので学生の皆さんに一定額の費用負担をお願いしています。従いまして、学長のメッセージにもありましたが、施設設備費とは皆さんが直接利用する大学施設の利用率ではなく、大学の施設設備環境を将来にわたって維持・拡充していくための経費も含まれることをご理解願います。なお、過去5年間の施設設備費に係る受入れ額と支出額の推移及び昨年度の使途内訳等収支状況につきましては以下のとおりです。

過去5年間の施設設備費収入と支出

単位：百万円

	H27	H28	H29	H30	R元	R2 (予算)
(収入)						
施設設備費収入	538	538	562	555	550	501
(支出)						
備品建物修繕費	237	63	33	49	110	54
施設設備関係費	511	182	96	69	90	117
光熱水費	116	108	106	111	110	112
業務委託費	121	120	117	113	110	108
減価償却費	459	476	443	441	408	434
支出合計	1,444	949	795	783	828	825
収支差額	△ 906	△ 411	△ 233	△ 228	△ 278	△ 324

令和元年度の施設設備収支状況

(収入)		(支出)	
施設設備資金	550百万円	医療保健学部・薬学部棟付属設備等の修繕 (動物実験室の修繕等)	14 百万円
		講義棟等付属設備及び備品の修繕	18 百万円
		講義棟G R C庇の改修工事	28 百万円
		エレベーター保守	14 百万円
		教育研究用装置の保守等 (核磁気共鳴装置等)	19 百万円
		図書館及び学内システムの保守	18 百万円
		電気設備管理保守 (空調設備等)	13 百万円
		施設総合管理 (校舎及び構内緑地管理等)	89 百万円
		コピー機のリース	19 百万円
		その他(図書館システムのリース料等)	34 百万円
		学内ネットワーク及びPC教室の備品類等を更新	148 百万円
		図書 (資産図書)	3 百万円
		その他 (屋外喫煙所移設工事他)	3 百万円
	減価償却費	408 百万円	
収入合計	550百万円	支出合計	828百万円